

インバランス収支計算書等

1 インバランス収支計算書

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	7,910	営業収益	7,825
地帯間購入電源費	1,137	地帯間販売電源料	1,073
他社購入電源費	56	託送収益	136
(インバランスの買取りに係る費用)	(56)	接続供給託送収益	136
社内取引費用	6,715	(インバランスの供給に係る収益)	(136)
(インバランス対応取引費用)	(3,418)	社内取引収益	6,615
(インバランスの買取り相当額取引費用)	(3,297)	(インバランスの供給相当額取引収益)	(6,615)
営業利益 (又は営業損失)	△84		

(記載注意)

次に掲げる事項について、脚注として記載すること。

- 1 インバランス収支計算書の作成に関する会計方針 (重要なものに限り、その採用が原則とされているものを除く。)
- 2 会計方針の変更をしたときは、その旨及びその変更による増減額 (ただし、変更又は変更による影響が軽微であるときは、その旨又はその増減額の記載を要しない。)
- 3 必要に応じ、費用及び収益の算定根拠その他送配電部門の収支の状態を正確に判断するために必要な事項
財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は財務諸表及びインバランス収支計算書等を含む送配電部門収支計算書等には計上していない。なお、平成28年度における確定額は、営業費用8,636百万円 (地帯間購入電源費1,137百万円、他社購入電源費66百万円、社内取引費用7,432百万円) 及び営業収益8,466百万円 (地帯間販売電源料1,073百万円、託送収益178百万円、社内取引収益7,214百万円) である。
- 4 インバランスの供給に係る電力量 (kWh) 及びインバランスの買取りに係る電力量 (kWh)
インバランスの供給に係る電力量は594百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は631百万kWhである。また、平成28年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は640百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は696百万kWhである。

2 年平均需給調整コスト

4.49 円/kWh

(記載注意)

年平均需給調整コストは、一般送配電事業託送供給等約款料金算定規則の第27条第1項第3号イの規定により算定した額を記載すること。